

わくわく本だな 10月号

富山市立図書館

今月のおすすめ



= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

「にわとりのおっばい」 (えほん) 山本省三/作 講談社



学校がっこうのとりごやでひよこがうまれたので、絵えをかくことになりました。教室きょうしつにもどって、にわとりのえをかいていたなぎさちゃんが、「ねえ、にわとりにおっばいってあったかな?」とききました。みんなであれこれかんがえても、わかりません。そこで、とりごやにたしかめにいきました。

「ムササビムーちゃん」 井上豊子/作 佼成出版社

まるさんの家の庭にわに、ムササビの赤ちゃんがおちていました。からだはピンク色でまだ目もあいていません。まるさんは、この赤ちゃんをムーちゃんと名づけました。綿棒めんぼうの先に牛乳ぎゅうにゅうをひたしてのませ、カイロで体をあたためてやり、育てるためにいろんな工夫くふうをしました。

「水の都のフローラ」 南房秀久/作 学研



ヴェネツィアで錬金術れんきんじゆつの修行しゆぎようをするフローラは、活発かつぱつな貴族きぞくの女の子。うだつのあがらない錬金術師れんきんじゆしのもと、一番弟子いちばんでしのオーウェンとけんかばかりしています。ある日、バラの花はなを使って香水かうすいを作ることになりました。ところが失敗しっぱいして、きみょうな怪物かいぶつを作りだしてしまいます。錬金術師れんきんじゆしのタマゴたちがまきおこす、夢ゆめと冒険ぼうけんの物語ものがたり。

「お天気大作戦 これでもお天気博士だ」 誠文堂新光社

むかしから、秋の空は、かわりやすいものだいひようの代表だいひようのようにいわれていますね。晴れていたのに、どうしてきゅうに雨あめになったりするのでしょうか? 台風たいふうやかみなりの正体せいだいは? お天気のなぞをときあかしてくれます。



あたらしくはいった本

えほん

「おしゃべりなもり」 シム、スラトコフ/作 福音館書店

かえでの木をつついて、あまいジュースをのむキツツキ。
たべものをたくわえ、あたたかい巣^すを作って冬にそなえるリス。
森の中で、いきものたちはみんな、とてもかしこく暮らしています。
動物^{どうぶつ}たちの、じまんばなしやたのしいおしゃべりがきこえてくる本です。



ものがたり

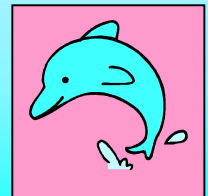
「リンゴちゃんとのろいさん」 角野 栄子/作 ポプラ社

マイちゃんもケイクンもブタのチャンピオンくんも、だれもあそんでくれないので、おこったリンゴちゃん。みんなをこらしめるために、“リンゴ山ののろいさん”の絵をかきました。すると、ほんものののろいさんがあらわれたのです。ながーい手がのびてきてつかまったみんなは、リンゴのかたちになってくるくるまわりだしました。



「うみの ないしょだけどほんとだよ」 竹下 文子/作 ポプラ社

うみの中には、ゆかいな ないしょばなしが、いっぱいです。
ねぼすけのサメは、ふとりすぎでこまっています。
うたのにがてなイルカは、こんぶの林で、こっそりうたのれんしゅう中。
こわいかおをしたオオカミウオは、ほんとうは、はずかしがりやです。



「ファラオの呪い^{のろい}危機^き一髪^{いっぱつ}！ 宇宙^{うちゅう}スパイウサギ^{さくせん}大作戦 2」

岡田 貴久子/作 理論社

UFOに乗って、小さなウサギが地球^{ちきゅう}にやってきました。みかけはかわいいピンクのぬいぐるみだけど、じつは宇宙^{うちゅう}スパイ。目的^{もくてき}は地球しんりやくです。ある日、人間の女の子のハルにさそわれ、デパートの“エジプト展”を見に行きました。“ファラオの呪い^{のろい}”のうわさが本当かどうか、ていさつ^{ちようさ}・調査^{てんさ}するためです。



「嵐^{あらし}の中のシリウス」 ハーロウ/作 文研出版

マギーの家の犬・シリウスは、大きくて毛が長いニューファンドランドという種類^{しゅるい}で、とてもかしこい犬です。ところが、“牧用犬^{ぼくようけん}以外^{いがい}は、飼^かってはいけない”という法律^{ほうりつ}ができて、シリウスは殺^{ころ}されるかもしれないと言われます。そこでマギーは、シリウスをいわば岩場^{いわば}にかくすことにしました。

嵐^{あらし}の海^{うみ}の中^{なか}を泳^{およ}いで人々^{たす}を助けたゆうかな犬^{いぬ}の、本当^{ほんとう}にあったお話^{おはなし}です。



「シークレッツ」 ジャクリーン・ウィルソン / 作 偕成社

トレジャーは、義理の父親から暴力を受けてけがをしました。でも今は、愛情あふれるおばあちゃんの家について幸せに暮らしています。一方、高級住宅地に住むおじょう様のインディアは、仕事第一の母親とうまくいかず、心を深くきずつけられていました。そんな二人が親友になります。育ちも性格もちがう二人の少女の、家族と友情の物語。



ちしきの本

「ハーモニカをふこう 見ればできる楽器演奏ガイド」 ほるぷ出版

ハーモニカは、とても小さくて親しみやすい楽器です。ポケットの中に入れて、どこにでも持っていけるし、息をふいたりすったりするだけで、いつでもかんたんに演奏できます。

ハーモニカのふき方を、写真と絵を使って一目でわかるように解説してあり、はじめての人も、楽譜を読めない人も、すぐハーモニカがふけるようになる本です。

とくしゅう
特集

はいくの本

俳句は、世界でもっとも短い詩です。言葉のリズムを楽しみながら、四季の情景と自分の思いを、五・七・五の十七文字にこめることができます。

「はいくのえほん」(えほん) 西本 鶏介 / 作 鈴木出版

有名でしたしみやすい俳句を、詩情あふれる絵で紹介しています。やさしい解説とともに、日本の美しいことばの世界をたのしむことができます。

「どうぶつ句会」 あべ 弘士 / 作 学研



六匹の動物たちが俳句大会をひらきました。だじゃれのような俳句も登場して、おもわずわらってしまう一冊です。

「俳句はいかが」 五味 太郎 / 作 岩崎書店

俳句の楽しみかたがわかりやすく書いてあります。かんたんなことばで気持ちを伝えられる俳句を、つくってみてはいかがでしょう？



「2年2組はいく先生 松井ばしょうくん」 那須 正幹 / 作 ポプラ社

ばしょうくんは、俳句のたつじん。身のまわりのできごとをすべてはいくにします。この本を読んだら、一句できるかも…。

ふるいけや
かわずびこむ
みずのおと
松尾芭蕉

10がつのこよみ



食欲しょくよくの秋、スポーツの秋、そして、読書どくしょの秋！
この秋、あなたはどんな本を、何冊、読みますか？



《 きょうは何の日？ 》

10月10日 **体育の日、東京オリンピック**がひらかれた日



10月11日 「**昆虫記**こんちゅうき」で有名な、**ファーブル**がなくなった日

10月21日 「**怪人二十面相**かいじんじじゅうめんそう」のシリーズを書いた、**江戸川乱歩**えどがわらんぽのたんじょう日

10月28日 日本に初めて、**パンダ**がやってきた日



10月27日～11月9日 **読書週間**どくしょしゅうかん

今年の標語ひょうご

“本を讀んでる君が好き”



図書館としょかんしょうかい！

- 八尾 福島分館やつお ふくしまぶんかんの巻 -



八尾の町なみにあわせた、白と黒の蔵くらのようなイメージの建物たてものです。
図書館のまわりにはポケットパークという公園こうえんがあり、静かに読書どくしょを楽しめます。

1階かいは、本がおいてある閲覧室えつらんしつで、2階には勉強べんきょうできる学習席がくしゅうせきがあります。
じっくりと読書や学習にとりくみたい人は、ぜひご利用りようください。
また、2階からは、美しい八尾の町なみを見ることもできますよ。

